

2018 年度日本郵便年賀寄付金配分事業の事例紹介

1. 活動・一般プログラム

事例 1	特定非営利活動法人 シクロツーリズムしまなみ（愛媛県今治市）
事業名	高齢者等の余暇活動支援のための自転車タクシー運用実験
事業種別	社会福祉の増進を目的とする事業
配分額	216 万円
<p>【事業内容】</p> <p>①自転車タクシー乗車体験 →地域の風土を楽しむ経験を提供し、自動車の移動にはない魅力を高齢者や障がい者等、自力で自転車乗車が困難な人に体感いただく機会を創出。</p> <p>②サイクリングガイドツアーの実施 →案内人を養成し、コミュニケーションを楽しみながら、自転車ならではの散策や交流ツアーを開催し、多様な年齢層に気軽なレジャーの機会を提供。</p> <p>③自転車タクシー利用のためのツール製作 →自動車とは異なり、主要道から逸れた風情ある小路や路地の探索、気軽に駐車してのショッピング・人々のふれあい等を楽しめる自転車タクシーの利用に資するマップや情報誌を製作。</p> <p><実施成果></p> <p>①自転車タクシー乗車体験 →歴史や文化的背景、商店街の日常、今治城などを堪能する乗車体験を提供。また、地域の高齢者・障がい者の参加はあり、普段まちなかの移動に困難を抱えている住民への新たな交通手段の一つとして提示。乗車体験会は 2 回実施し、述べ 53 名が参加。また、案内ガイドを 3 名養成。</p> <p>②サイクリングガイドツアーの実施 →ガイドを養成し、コミュニケーションを楽しみながら長距離となるツアーを実施。3 回ツアーを実施し、延べ 36 名が参加。</p> <p>③自転車タクシー利用のためのツール製作 →老舗が残る路地、観光地化されていないエリアの散策等、新しい視点でのマップ・情報誌を作成。停留所を 3 か所設置し、マップ・情報誌は各 13,000 部を発行</p>	
<p>【参考写真】</p> 	

2. 活動・チャレンジプログラム

事例 2	特定非営利活動法人 咲良の会（広島県広島市）
事業名	様々な独居等高齢者のための居場所づくり事業
事業種別	社会福祉の増進を目的とした事業
配分額	50 万円
<p>【事業内容】</p> <p>自宅、病院、施設のいずれでも死ぬことができない高齢者が増えている時代の中で、住民が一体となった見守り環境を醸成することを目的に、複層的な構成の居場所・交流場所と見守り環境を提供。</p> <p><実施内容及び実施成果></p> <p>①コミュニティ食堂 →独居等の高齢者が「誰かと会話しながら食事できる」ことを目的に、低廉な価格の食事を提供。 開催回数：年間 241 回（平日昼に開催） 参加者数：延べ 2,400 名</p> <p>②夜の世代交流居酒屋 →「持ち寄り居酒屋」スタイルの夜の交流会を開催。 開催回数：年間 12 回 参加者数：延べ 100 名</p> <p>③自己表現活動「祭り・音楽会」 →民謡や三味線などの発表会を開催。 開催回数：年間 2 回 観客・参加者数：延べ 200 名</p> <p>④「人生劇場紙芝居」等による記憶の呼び起こしと死についての学習会 →人生の来し方を紙芝居化して上演。 開催回数：年間 11 回 参加者数：延べ 100 名</p> <p>⑤人生を語り遺すための「唱歌による思い出語り」と「リビングウィルを語り遺す会」 →思い出の歌等を思い出すため、歌あり思い出話ありのヒアリングを実施。 開催回数：年間 11 回 リビングウィル：5 名</p> <p><意図しなかった成果></p> <p>「人生劇場紙芝居」の活動が、北海道十勝振興局長の目に留まり、十勝帯広において、紙芝居会やシンポジウムが開催されることとなり、事業の拡大に成功。</p> <p>【参考写真】</p> 	

3. 施設改修

事例 3	特定非営利活動法人 ポケットサポート（岡山県岡山市）
事業名	事務所での障がい者交流および雇用のためのバリアフリー改修事業
事業種別	社会福祉の増進を目的とする事業
配分額	343 万円
<p>【事業内容】</p> <p>団体の活動拠点である事務所の玄関を車椅子の方でも入室できるようにするため、昇降機の設置および洗面台の改修を実施。</p> <p>改修の結果、車椅子利用者が事務所を利用できるようになり、車椅子利用者の雇用を確保。（月間 10 時間×12 か月＝年間 120 時間）</p> <p>また、先天性心臓病などの理由でアルバイト経験のない高校生・大学生・専門学生についてもパソコン作業や封入作業などでアルバイトの経験を提供。</p>	
<p>【参考写真】</p>	

4. 機器購入

事例 4	一般社団法人 ピースポート災害ボランティアセンター（東京都新宿区）
事業名	風水害による被害を受けた浸水家屋への災害ボランティアによる清掃活動に必要な資機材である送風機の新規設置事業
事業種別	風水害、震災等非常災害による被災者の救助又はこれらの災害の予防を行う事業
配分額	34 万円
<p>【事業内容】</p> <p>西日本豪雨災害の被災地である岡山県倉敷市真備町の支援を中心に、被災地の家屋の床下や木部を乾燥させるため、送風機を購入。</p> <p>購入した送風機を活用し、50 件以上の被災家屋に対応。</p> <p>また、被災地における人手不足解消に向けて、倉敷市や倉敷市社会福祉協議会などと連携し、延べ 80,000 人以上のボランティアの受け入れを実施。</p>	
<p>【参考写真】</p>	

5. 車両購入

事例 5-1	社会福祉法人 鎮西会（福岡県田川市）
事業名	児童福祉施設、保育所に通う児童のための通所送迎車両購入事業
事業種別	社会福祉の増進を目的とする事業
配分額	130 万円
<p>【事業内容】 保育所に通う児童の送迎用として、12 人乗りの送迎車を購入。 車両の更改前、ステップが故障するなど、毎年修理を要していたが、故障の心配もなくなり、より安全・安心な送迎を実現。 また、児童数 69 名に対し、送迎利用者 29 名で児童の約 40%以上が利用しているが、不満による利用者減および送迎クレームが 0 件と、利用者の満足度も向上。</p>	
<p>【参考写真】</p> 	

事例 5-2	社会福祉法人 共生の里（福岡県行橋市）
事業名	就労支援 B 型事業の造園管理作業・通勤用トラック車両購入事業
事業種別	社会福祉の増進を目的とする事業
配分額	124 万円
<p>【事業内容】 施設外作業や緑地管理の作業効率などを上げるため、トラックを購入。 トラックを購入した結果、作業範囲が広がり、作業収入が年間 200 万円から目標であった年間 440 万円を大幅に超え、年間約 1,000 万円に増加。 これに伴い、利用者の平均工賃も月額平均 14,667 円（時給 596 円）から、月額平均 16,286 円（時給 703 円）に増加。</p>	
<p>【参考写真】</p> 	

6. 東日本大震災・熊本地震の被災者救助・予防（復興）

事例 6	特定非営利活動法人 九州バイオマスフォーラム（熊本県阿蘇市）
事業名	熊本地震の土砂災害警戒区域における森林整備とコミュニティづくり
事業種別	東日本大震災・熊本地震の被災者救助・予防（復興）
配分額	350 万円
<p>【事業内容】</p> <p>①森林整備と間伐材・雑木の搬出 →地元の林業事業者と連携し、未整備の森林整備を実施。</p> <p>②森づくり・薪づくりのワークショップ開催 →地元のキャンプ場と連携し、親子で体験できる森づくり・薪づくりのワークショップを開催。</p> <p>③薪ストーブの導入 →地元の防災拠点となりうる施設に薪ストーブを導入。</p> <p><実施成果></p> <p>①森林整備と間伐材・雑木の搬出 整備した森林面積：1ha →豪雨や地震などにより、一部斜面崩壊や地割れが起きており、土砂災害危険区域となっている保育園周辺の森林 1ha の整備を園児や保護者とともに実施。 この整備で土砂災害防止の一助となっただけでなく、園児や保護者と森林整備の重要性を共有。</p> <p>②森づくり・薪づくりのワークショップ開催 開催回数：年間 2 回 参加者数：延べ 55 名（1 回目：49 名、2 回目：6 名） →林業の専門家を講師に招き講話をしていただいたことで、森林整備の重要性に対して、高い理解度を獲得。</p> <p>③薪ストーブの導入 廃校になった小学校を宿泊施設として改築している「なみの高原やすらぎ交流館」に薪ストーブ 1 台を導入。 →灯油ストーブから薪ストーブへ切り替えた結果、災害時、ライフラインに依存せず暖を取ることが可能。</p> <p>【参考写真】</p> 	